

いちご株式会社との「Mizuho Eco Finance」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、いちご株式会社（代表執行役社長：長谷川 拓磨、以下「いちご」）との間で「Mizuho Eco Finance」（※1、以下「本商品」）に関するコミットメント期間付タームローン契約を締結しました。

〈みずほ〉は、お客さまとの積極的な対話（エンゲージメント）を通じて課題やニーズを深く理解し、お客さまのSDGs・ESGへの取り組みやイノベーションをサポートするため、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいます。

本商品は、脱炭素社会への移行に向けて、お客さまとともに取り組みを促進していくことを目的に、グローバルに信頼性の高い環境認定や評価等を組み入れた、みずほリサーチ&テクノロジー株式会社が開発した環境評価モデルを用いて、お客さまの取り組みや指数をスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し融資を行う環境評価融資商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（JCR）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

いちごは、不動産における環境への負荷を事業上の重要な課題と認識しており、現存不動産を活かし、建物の長寿命化により「100年不動産」を目指す心築（しんちく）事業を軸として、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。

〈みずほ〉は、いちごが「持続可能なインフラ企業」を目指し取り組みを推進してきた中で、2022年11月にTCFDに賛同していること、2024年5月に「1.5°C目標」のSBT認定を取得していること、温室効果ガスに関する環境長期ビジョンを策定し2030年を目標年とする総量削減目標を設定していること、温室効果ガス排出量（Scope1+2）を削減していることなど、評価モデルに使用している指標において高い水準で満たしていることを評価しています。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューシ

ョン提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

<案件の概要>

融 資 先：いちご

貸 付 人：みずほ銀行

契 約 金 額：100億円

契 約 締 結 日：2025年3月31日

※1：「Mizuho Eco Finance」

2019年6月28日付ニュースリリース「『Mizuho Eco Finance』の取扱開始について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20190628release_jp.pdf

※2：株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上